セミナー録画配信サービス付き

15の事例から学ぶ

介護事故の再発防止策検討(訪問介護編)

- 転倒・誤えんから行方不明まで徹底解説 -

ヒヤリハットなどを使って事故を予測して、未然に防止対策を講じる活動はもちろん重要です。しかし、介護現場ではビックリするような思いもよらぬ事故も起きます。想定不可能な事故に備えることは難しいのですが、できる限り多くの事故を想定して防止策を講じることが必要です。他の事業所で起きた事故は自分の事業所でも起きる可能性はあるのです。頭の中にたくさんの引き出しを作って、様々な事故防止対策事例を覚えて備えておくことが、事故防止対策のコツです。本セミナーでは、最近訪問介護の現場で発生した15件の事故事例をご紹介し、原因分析と再発防止策を詳しく解説します。

セミナーの概要

15件の事故事例について原因と再発防止策を解説します。

- 1.ベッドから車椅子への移乗介助で、つかまっていた介助バーがぐらつき転倒骨折
- 2.デイサービスの送迎介助で車椅子全介助の利用者を無理に歩かせ転倒して骨折
- 3.近所のかかりつけ医に車椅子で通院介助、石畳の窪みに落ち利用者が後方に転落
- 4.家事援助でヘルパー滞在中に利用者が居なくなり行方不明に、家族から事前情報は無い
- 5.食事介助中に誤えんが発生し救急搬送したが回復、2日後に誤嚥性肺炎で死亡
- 6.障害者の食事介助中に異変、祖母が「てんかんの発作」と言い救急車を呼ばなかった
- 7.移乗介助中に足に裂傷、「足に傷が付いた」と事務所に報告したら大きなトラブルに
- 8. 障害者の外出援助中にエレベーターのドアを押さえ先に利用者を歩かせたら転倒
- 9.生活援助中に利用者が脳血管障害の発作、気付いて救急車要請したが手遅れで死亡
- 10.入浴の見守り中に利用者が浴槽で溺れ、引き上げようと手間取り救急搬送が遅れ死亡
- 11.利用者に頼まれ2階の雨戸を無理に開けたら落下して隣家の車を破損、誰が賠償する?
- 12.洗濯中に水漏れし階下の部屋に甚大な水漏れ被害、慰謝料を請求すると言う被害者
- 13.調理サービス後火を消さずに帰宅し夫がクレーム、ヒヤリハット提出したが謝罪要求
- 14.ファミレスで車上荒らしに遭い利用者の個人情報漏洩、「警備を付けろ」という家族
- 15.訪問時本人不在で家族やケアマネに連絡して帰宅、翌日居宅内で倒れているのを発見
- ※参加者は事例に目を通してからご参加下さい➡[事例一覧] http://tiny.cc/nt7txz

無料オンラインセミナー開催要領

■開催日時:2024年6月27日 | 13:30~|5:00

■主催:株式会社安全な介護

■講師:株式会社安全な介護 代表 山田滋

■参加費:無料

■参加方法:Zoomによるオンライン(接続PCは3台まで)

■申込方法: 下記URLからお申し込み下さい(6月22日締切)

http://tiny.cc/672zwz

お申込みいただいた方には、締め切り後に視聴用URLとテキストをメールで送付いたします。

講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。 2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

※セミナー録画はお申し込みの方に翌日から1週間配信しますので参加できなくても受講できます。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護(セミナー事務局)

mail:soudan@nanasha.co.ip

雨戸を無理に開けようとしたら 突然外れて隣の家の車の上に落下!



Kさんは要介護2の独り暮らしの女性利用者で、週2回家事援助を利用しています。ある日ヘルパーが訪問すると、「天気がいいからいつも締め切っている2階の雨戸を開けて欲しい」と言われ、2階に行き指示された雨戸を開けようとしました。ところが、雨戸が動きません。思い切り力を入れると少し動いたので、全身の力を入れて雨戸を横に引きました。すると雨戸が外れて隣の家に落ちてしまいました。雨戸は隣の家のガレージの屋根を突き破って車に当たり、車の屋根が凹んでしまいました。ヘルパーはすぐに隣の家に行って謝罪しましたが、隣の家のご主人は「修理費を請求する」と言いました。2週間くらい経って、Kさんの息子さんから「隣から修理費の請求が来たので払って欲しい」と言って来ました。保険会社に連絡すると、「雨戸を管理する責任はその家の所有者なので支払えない」と言われました。